

小沢海外功労賞について

「小沢海外功労賞」は、国際建設技術協会の初代会長である故小沢久太郎氏のきよきんの醸金をもとに、同氏の国際協力にかけた情熱を永く記念するため、昭和 55 年に創設されました。本賞は、当協会の設立目的である「海外における国土開発への協力」に対し功労のあった者（個人、法人）を表彰し、その労に報いるものであります。

本表彰は、平成 29 年度までに 36 回を数え、個人 152 名、法人 51 社が表彰されています（参考資料）。

国建協 初代会長・工学博士 故 小沢久太郎 氏 略歴

明治 33 (1900) 年	千葉県にて出生
昭和 2 (1927) 年	東京帝国大学工学部土木工学科卒業 同年、内務省土木局（後の建設省）勤務
昭和 24 (1949) 年	建設省近畿地方建設局長
昭和 25 (1950) 年	経済安定本部建設交通局長
昭和 28 (1953) 年	参議院議員
昭和 31 (1956) 年	国際建設技術協会創設、理事長（後に会長）に就任
昭和 32 (1957) 年	建設政務次官
昭和 39 (1964) 年	郵政大臣
昭和 42 (1967) 年	逝去

第 37 回「小沢海外功労賞」募集要領

1. 賞 の 目 的 当協会の設立目的である「海外における国土開発に対する協力」に関し、功労者の表彰を行うことにより、その労に報いる。
2. 候補の対象 個人の一部 当協会の個人正会員。または、正会員会社および賛助会員会社に在籍（推薦日現在）している方
特例として、選考委員会が適当と認め、理事会の承認を得た方
法人の一部 当協会の法人正会員および賛助会員
3. 推薦基準 裏面に記載
4. 推薦者の資格 個人の一部 個人正会員
(候補者が正会員会社および賛助会員会社に所属する場合、その推薦は所属会社に限る)
法人の一部 法人正会員、賛助会員（自社推薦も可）
5. 選 考 当協会内に選考のための委員会を設置し、委員会において選定を行い、理事会の承認を経て表彰する
6. 表彰の時期 当協会定時総会（平成 30 年 9 月 19 日（予定））において表彰
7. 表彰者数 個人の一部 4 名以内（賞状ならびに副賞 3 万円）
法人の一部 4 社以内（賞状ならびに記念品）
8. 応募要領 所定の様式にて、推薦理由、経歴等を具体的に記述し、事務局宛、**郵送または持参してください（FAX、e-mail 等による応募は不可）**。
なお、候補者(社)の業績に関する参考資料を添付していただいても構いません（片面で 10 枚以内といたします）。
応募用紙の書式は**当協会ホームページ**より入手できます。また、ご希望の方には e-mail、または郵送にて配布いたしますので、担当（下記）までご連絡願います。
9. 募集締切 **平成 30 年 7 月 27 日（金）**

事務局：一般社団法人 国際建設技術協会（担当：総務企画部 吉田）
〒162-0811 東京都新宿区水道町 3-1 水道町ビル 6F
TEL. 03(5227)4100(総務企画部) e-mail. idi10@idi.or.jp（吉田）

「小沢海外功労賞」候補者の推薦基準

候補者の推薦基準は次の通りです。

推薦にあたっては、候補者が推薦基準のどの区分に該当するかを選び、推薦理由書に記載してください。

(複数に該当する場合、代表的なものを一つ選び、記載してください。)

個人の部

区分A：当協会の目的にそって海外建設事業に従事している方、またはした事のある方

海外建設事業に従事し、建設事業、建設技術開発、建設技術の普及等に功績があり、海外勤務5年以上の経験を有する年令55才以上の方。

区分B：わが国建設産業の海外発展、または建設分野の国際協力に多大な功労のあった方

海外勤務の有無にかかわらず、多年(15年以上)にわたって建設産業の海外進出、または建設分野の国際協力に尽力され、その功績が大であると認められる方。原則として55才以上。

区分C：当協会の活動に直接貢献した方

当協会が行っている活動において、その功績が大であると認められる方。

法人の部

区分A：多年にわたって海外建設事業進出のために企業努力を行っている法人

区分B：海外建設事業を通じ当該国の地域社会の発展に貢献した法人